

不動の人気 ボルドーワイン その歴史を辿る

紀元前60年頃 古代ローマ時代

ボルドーの地域はローマ帝国の支配下にはいります。

ワイン大好きなローマ人は、ワイン用葡萄を栽培するのに最高の土地条件をもったこの土地に目をつけます。

1世紀頃にローマ人は現在のスペインのラ・リオハからブドウの持ち込み栽培を始め、すぐにワインの名産地として有名になりました。これがボルドーワインの始まりとなったのです。



1152年

ボルドーを支配するアキテーヌ公の娘エレノアが、後にイングランドのプランタジネット朝を開くヘンリ2世と結婚。それ以降、ボルドーのワインは盛んにイングランドに輸出されていきます。それまでビールばかり飲んでいていたイングランド人はワインの美味しさを知り、高い値段を出してボルドーワインを競うように楽しむようになりました。これによりイングランドから富が流れこみ、ボルドーは瞬く間に大都市に生まれ変わりました。プランタジネット朝治下の1300年代後半には、ロンドンの次に大きな都市にまで成長していきました。



15世紀～16世紀

相変わらずボルドーワイン最大のお客様はイングランドでしたが、ボルドーでワインの買い付けを行っていたのはオランダ人商人でした。イングランドのワインに対する需要は伸び続けていたため、オランダ人商人はボルドーのインフラを整備して大量に安くワインを仕入れて儲けられないか考えます。そこで目を付けたのがボルドーのあちこちに点在している「沼」。この沼を開発して、ワインの畑にしていき、結果これまで輸送の邪魔だった沼も開墾されて、立派な道路に整備されました。これにより生産量と販売量は飛躍的に上がり、「一面に続くブドウ畑」というボルドーの風景が作られたのもこの頃です。



1855年 ボルドーワインの格付け



同年に開かれたパリ万博で発表されたもので、「どのワインが高級で、これくらいの値段で買われるべきだ」というのを明示した点が画期的でした。それ以前から特定のシャトーが高品質のワインを作るというのは徐々に知られて行っていて、自然とそういったシャトーのワインは高値で取引されていました。しかし明確な基準はありませんでした。それを「このワインは市場で高値で取引されるのが当然である」と定義づけたのがこの格付けでした。このことは「ブランド品」の走りとも言え、この伝統がボルドーワインを今でも王様たらしめているのではないのでしょうか。

蔵家では2階の部屋にボルドーワインを展開中。
ゆっくりご覧になってくださいね



【お問い合わせ先】 和・洋酒専門店 **リカーポート蔵家**

〒194-0037 東京都町田市木曽西1-1-15 TEL : 042-793-2176 FAX: 042-793-2177

E-Mail : machida@kura-ya.com 営業時間 : 9時30分～20時 <月曜定休日>